

(P)

Laid Open Specification of Japanese Patent Application
No. 06-62111

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 06062181 A

(43) Date of publication of application: 04.03.94

(51) Int. Cl.
H04N 1/04
G06F 15/64
H04N 1/00

(21) Application number: 04235434

(22) Date of filing: 11.08.92

(71) Applicant: NISCA CORP

(72) Inventor: SAITO HIDEKI
KANDA TAKASHI

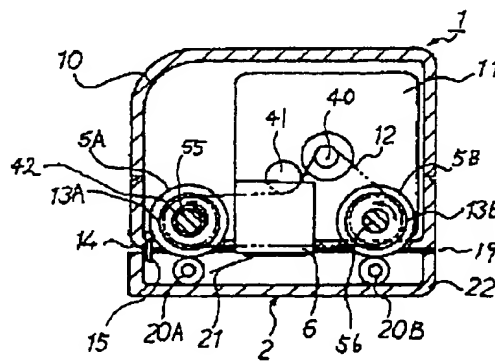
(54) IMAGE READER

(57) Abstract:

PURPOSE: To miniaturize the device and to reduce cost while holding expandability by controlling a driving part corresponding to the original detecting state of a sensor provided at the original entrance of a read part by using the sensor in both of a self running mode and a manual inserting mode.

CONSTITUTION: An original entrance 14 of a read part 1 is provided with a lever type sensor 15 to detect originals inserted in the entrance. This device is provided with a manual inserting mode 1 to read the original manually inserted to the original entrance 14 in the state of coupling the read part 1 and a conveyance part 2 as an automatic paper feeding mode, and the self running mode to read the originals while placing the read part 1 on the original and self running it on the original, and the respective modes are switched by a personal computer to perform image processing. In the respective modes of the self running mode and the manual inserting mode, the drive of the driving part composed of a motor 11, pulleys 40, 13A and 13B and conveyance rollers 5A and 5B or the like is controlled corresponding to the original detecting state of the sensor 15. Thus, various use forms can be dealt with only by one sensor.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



49p 1644663

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-62181

(43)公開日 平成6年(1994)3月4日

| (51)Int.Cl. ⁵ | 識別記号 | 庁内整理番号 | F I | 技術表示箇所 |
|--------------------------|-------|-----------|-----|--------|
| H 0 4 N 1/04 | | Z 7251-5C | | |
| | | A 7251-5C | | |
| G 0 6 F 15/64 | 3 2 5 | E 9073-5L | | |
| H 0 4 N 1/00 | | C 7046-5C | | |

審査請求 未請求 請求項の数6(全 10 頁)

(21)出願番号 特願平4-235434

(22)出願日 平成4年(1992)8月11日

(71)出願人 000231589

ニスカ株式会社

山梨県南巨摩郡増穂町小林430番地 1

(72)発明者 斉藤 秀実

山梨県南巨摩郡増穂町小林430番地 1 ニ

スカ株式会社内

(72)発明者 還田 隆

山梨県南巨摩郡増穂町小林430番地 1 ニ

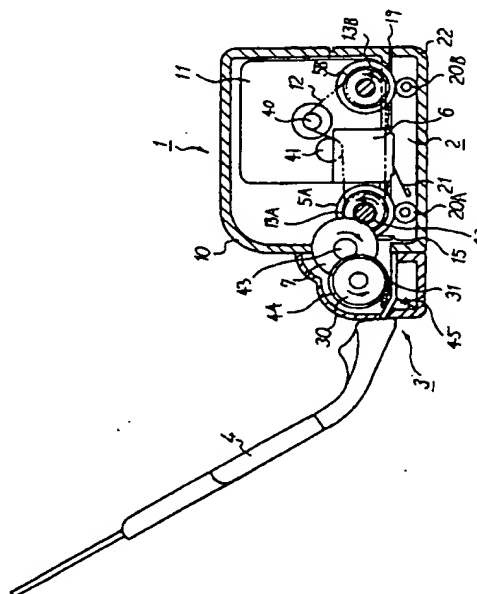
スカ株式会社内

(54)【発明の名称】 画像読み取り装置

(57)【要約】

【目的】 各種の利用形態に対する拡張性を保持しながら小型化とコスト低下を促進し、信頼性の高い画像読み取り装置を得ること。

【構成】 駆動部によって駆動される回転体の回転により相対的に移動する原稿の画像を読み取る読み取り部と、この読み取り部に取り付けられ、前記原稿を検出するセンサとを設け、このセンサを手差しモードでは原稿先端の検知センサとして、自走モードでは落下防止センサとして、自動分離モードでは原稿先端および後端の検知センサとして兼用するようにした



【特許請求の範囲】

【請求項1】 駆動部によって駆動される回転体の回転により相対的に移動する原稿の画像を読み取る読み取り部と、

この読み取り部に取り付けられ、前記原稿を検出するセンサと、

前記読み取り部に着脱自在で前記回転体に接触して原稿を搬送する搬送部と、

前記読み取り部を原稿上に載置して前記駆動部によって駆動される回転体の回転によって前記読み取り部を移動させながら原稿の画像を読み取る自走モードと、前記読み取り部と前記搬送部とが結合された状態で原稿を移動させながら読み取る手差しモードとを切り替える切り替え手段と、

この切り替え手段により切り替えられた各モードにおいて前記センサの原稿検出状態に応じて前記駆動部の駆動制御を行う制御手段とを備えたことを特徴とする画像読み取り装置。

【請求項2】 前記制御手段は、自走モードにおいて前記センサが原稿を検出している状態で前記駆動部を駆動し、非検出状態では駆動を停止し、手差しモードにおいて前記センサが原稿を検出すると前記駆動部を所定量駆動して原稿を所定量移動させて読み取りを開始することを特徴とする請求項1記載の画像読み取り装置。

【請求項3】 駆動部によって駆動される回転体の回転により相対的に移動する原稿の画像を読み取る読み取り部と、

この読み取り部に取り付けられ、前記原稿を検出するセンサと、

前記読み取り部に着脱自在で前記回転体に接触して原稿を搬送する搬送部材を有すると共に、前記駆動部によって駆動され、複数枚の原稿を1枚に分離して前記読み取り部と搬送部材との間に供給する給紙部と、

前記読み取り部を原稿上に載置して前記駆動部によって駆動される回転体の回転によって前記読み取り部を移動させながら原稿の画像を読み取る自走モードと、前記読み取り部と前記給紙部とが結合された状態で複数枚の原稿を1枚に分離しながら読み取る自動給紙モードとを切り替える切り替え手段と、

この切り替え手段により切り替えられた各モードにおいて前記センサの原稿検出状態に応じて前記駆動部の駆動制御を行う制御手段とを備えたことを特徴とする画像読み取り装置。

【請求項4】 前記制御手段は、自走モードにおいて前記センサが原稿を検出している状態で前記駆動部を駆動し、非検出状態では駆動を停止し、自動給紙モードにおいて前記センサが原稿の非検出状態で駆動部を駆動して給紙部より原稿を送り出し、前記センサが原稿を検出すると前記駆動部を所定量駆動して原稿を所定量移動させて読み取りを開始することを特徴とする請求項3記載の

画像読み取り装置。

【請求項5】 駆動部によって駆動される回転体の回転により相対的に移動する原稿の画像を読み取る読み取り部と、

この読み取り部に取り付けられ、前記原稿を検出するセンサと、

前記読み取り部に着脱自在で前記回転体に接触して原稿を搬送する搬送部と、

前記読み取り部に着脱自在で前記駆動部によって駆動され、複数枚の原稿を1枚に分離して前記読み取り部と搬送部との間に供給する給紙部と、

前記読み取り部を原稿上に載置して前記駆動部によって駆動される回転体の回転によって前記読み取り部を移動させながら原稿の画像を読み取る自走モードと、前記読み取り部と前記搬送部とが結合された状態で原稿を移動させながら読み取る手差しモードと、前記読み取り部と前記搬送部および給紙部とが結合された状態で複数枚の原稿を1枚に分離しながら読み取る自動給紙モードとを切り替える切り替え手段と、

この切り替え手段により切り替えられた各モードにおいて前記センサの原稿検出状態に応じて前記駆動部の駆動制御を行う制御手段とを備えたことを特徴とする画像読み取り装置。

【請求項6】 前記制御手段は、自走モードにおいて前記センサが原稿を検出している状態で前記駆動部を駆動し、非検出状態では駆動を停止し、手差しモードにおいて前記センサが原稿を検出すると前記駆動部を所定量駆動して原稿を所定量移動させて読み取りを開始し、自動給紙モードにおいて前記センサが原稿の非検出状態で駆動部を駆動して給紙部より原稿を送り出し、前記センサが原稿を検出すると前記駆動部を所定量駆動して原稿を所定量移動させて読み取りを開始することを特徴とする請求項5記載の画像読み取り装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、原稿に形成された画像を読み取る読み取り部と原稿の搬送部とが着脱自在の画像読み取り装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の画像読み取り装置として、例えば特開平2-22958号公報に開示されたものがある。

【0003】この画像読み取り装置では、普通の大きさのシート状原稿の場合には、読み取り部を搬送部に一体的に連結した状態で、読み取り部と搬送部との間の原稿搬送路を介して原稿を搬送して原稿の画像を読み取る。

【0004】一方、書籍や特に大きいシート状原稿の場合には、搬送部から読み取り部を分離し、読み取り部を原稿に沿って移動させて画像を読み取るように構成されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記した従来の画像読み取り装置において、読み取り部と搬送部とを一体的に連結した状態で画像を読み取る手差しモードと、読み取り部を分離して画像を読み取る自走モードとを切り替えて使用する場合、これらのモードを切り替えるセンサが必要になる。

【0006】具体的には、読み取り部に搬送部が結合されているかどうかを検出するセンサが必要になる。

【0007】一方、手差しモードにおいては、原稿が挿入されたことを検出するセンサが必要になる。

【0008】また、複数枚の原稿を1枚ずつ分離して給送する自動給紙装置を結合して使用する場合、この自動給紙装置が結合されたことを検出するセンサが必要になる。

【0009】しかしながら、この種の画像読み取り装置は、読み取り部のみで使用する形態、または読み取り部と搬送部とを一体化して使用する形態、あるいは自動給紙装置を必要に応じて連結して使用する形態など、各種の利用形態があり、これらは利用者によって自由に選択できる拡張性の高いものとなっている。したがって、このような各種の利用形態に対処するためにセンサを読み取り部に複数個常設した場合、読み取り部の構成が複雑になり、コストアップの原因となる。また、読み取り部のみで使用する形態においては、不要なセンサが存在することになり、コストアップを招くことはもとより、故障要因が増加し、信頼性を低下させ、さらには小型化の障害になる。

【0010】この発明はこのような事情を解決するもので、その目的は、拡張性を保持しながら小型化とコスト低下を促進し、信頼性の高い画像読み取り装置を提供することである。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するためこの発明では、読み取り部の原稿入り口に設けた1個のセンサを各モードで兼用するようにした。

【0012】すなわち、駆動部によって駆動される回転体の回転により相対的に移動する原稿の画像を読み取る読み取り部と、この読み取り部に取り付けられ、前記原稿を検出するセンサとを設ける。

【0013】この他に、前記読み取り部に着脱自在で前記回転体に接触して原稿を搬送する搬送部と、前記読み取り部を原稿上に載置して前記駆動部によって駆動される回転体の回転によって前記読み取り部を移動させながら原稿の画像を読み取る自走モードと、前記読み取り部と前記搬送部とが結合された状態で原稿を移動させながら読み取る手差しモードとを切り替える切り替え手段と、この切り替え手段により切り替えられた各モードにおいて前記センサの原稿検出状態に応じて前記駆動部の駆動制御を行う制御手段とを設ける。

【0014】あるいは、前記読み取り部に着脱自在で前記回転体に接触して原稿を搬送する搬送部材を有すると共に、前記駆動部によって駆動され、複数枚の原稿を1枚に分離して前記読み取り部と搬送部材との間に供給する給紙部と、前記読み取り部を原稿上に載置して前記駆動部によって駆動される回転体の回転によって前記読み取り部を移動させながら原稿の画像を読み取る自走モードと、前記読み取り部と前記給紙部とが結合された状態で複数枚の原稿を1枚に分離しながら読み取る自動給紙モードとを切り替える切り替え手段と、この切り替え手段により切り替えられた各モードにおいて前記センサの原稿検出状態に応じて前記駆動部の駆動制御を行う制御手段とを設ける。

【0015】あるいは、前記読み取り部に着脱自在で前記回転体に接触して原稿を搬送する搬送部と、前記読み取り部に着脱自在で前記駆動部によって駆動され、複数枚の原稿を1枚に分離して前記読み取り部と搬送部との間に供給する給紙部と、前記読み取り部を原稿上に載置して前記駆動部によって駆動される回転体の回転によって前記読み取り部を移動させながら原稿の画像を読み取る自走モードと、前記読み取り部と前記搬送部とが結合された状態で原稿を移動させながら読み取る手差しモードと、前記読み取り部と前記搬送部および給紙部とが結合された状態で複数枚の原稿を1枚に分離しながら読み取る自動給紙モードとを切り替える切り替え手段と、この切り替え手段により切り替えられた各モードにおいて前記センサの原稿検出状態に応じて前記駆動部の駆動制御を行う制御手段とを設ける。

【0016】

【作用】上記構成において、読み取り部のみの使用形態では、センサがオンしたならば、読み取り部が原稿の上に載置されたものと判断できるので、この条件をもとに読み取りを開始する。

【0017】次に、読み取り部に搬送部を結合して使用する形態では、センサがオンしたならば、読み取り部と搬送部との間に原稿が挿入されたものと判断できるので、この条件で読み取りを開始する。

【0018】次に、読み取り部に搬送部と給紙部を結合して使用する形態では、センサがオンしたならば、読み取り部と搬送部との間に原稿が自動給送されたものと判断できるので、この条件で読み取りを開始する。

【0019】従って、1つのセンサのみで各種の使用形態に対処することができる。

【0020】

【実施例】次に図面に基づきこの発明の実施例を説明する。

【0021】＜構成＞図1及び図2はこの発明を適用した画像読み取り装置の一実施例を示す平面図及び側面図であり、原稿の画像を読み取る読み取り部1と、この読み取り部1に着脱自在で読み取り部1に装着された状態

で原稿を搬送する搬送部2と、この搬送部2に着脱自在で搬送部2に装着した状態で読み取り部1と搬送部2との間に原稿を自動給紙する給紙部3とから構成され、給紙部3に回転自在に取り付けられたトレイ4は図3に示すように読み取り部2の上に折り畳むことができるようになっている。

【0022】この画像読み取り装置は、図4のように読み取り部1と搬送部2と給紙部3とが結合された状態で、給紙部3にセットされた複数枚の原稿を1枚ずつ分離して自動給紙しながら画像を読み取る自動給紙モードと、図5及び図6のように読み取り部1と搬送部2とが結合された状態で、原稿入り口14に手差しされた原稿を読み取る手差しモードと、図7及び図8のように読み取り部1を原稿上に載置して原稿上を自走させながら原稿を読み取る自走モードとを備えている。

【0023】なお、自動給紙モード、手差しモード、自走モードを切り替える切り替え手段が、読み取り部1が接続され画像処理を行うパーソナルコンピュータ等の図示してない画像処理装置（制御手段）に設けられている。この切り替え手段は読み取り部1に設けられていても良い。

【0024】読み取り部1は図6、図9、図10のようにカバー10によって覆われ、その内部には、駆動源としてのモータ11と、このモータ11の回転軸に取り付けられたプーリ40と、前後一対のプーリ13A、13Bと、プーリ40、13A、13Bに掛けられ一対のプーリ13A、13Bを矢印方向に駆動するタイミングベルト12と、タイミングベルト12を押圧するテンションローラ41と、プーリ13A、13Bの回転軸55、56に取り付けられて回転駆動される搬送ローラ5A、5B（回転体）と、これら搬送ローラ5A、5Bの間に配置され、受光面が搬送部2方向を臨むように取り付けられた密着型のイメージセンサ6（読み取り手段）と、原稿入り口14に取り付けられ、ここから挿入される原稿を検出するレバー式のセンサ15（検出手段）とが設けられている。

【0025】回転軸55の一端には給紙部3に駆動を伝えるためのギア42が取り付けられている。

【0026】センサ15は図6のように先端が下方に下がった状態がオフ（原稿非検出）であり、原稿の先端や後端を検出するようになっているが、図22のように読み取り部1が異動中に本や机の端部から落下するのを防止する機能も備えており、自走中にセンサ15がオフするとモータ11を停止し、音や光の警告を発するようになっている。従って、センサ15はイメージセンサ6段より移動方向前方に設けられている。また、センサ15は移動方向の重心位置より前方に設けられ、センサ15がオフして読み取り部1が停止したとき、重心位置が画像読み取り面上に残るようにしてある。

【0027】読み取り部1のカバー10の底面（ガイド

部材）には図10のように、搬送部2と結合するための結合穴51、52、53、54が設けられている。なお、カバー10の底面は原稿と対向するため、原稿を案内するガイドの機能も有している。

【0028】更に、回転軸55、56、イメージセンサ6、モータ11、センサ15などは図11に示すフレーム17に取り付けられ、このフレーム17とカバー10との間に取り付けられた左右の圧縮バネ16によってカバー10が原稿面から離反する方向に付勢されている。なお、57は圧縮バネ16を支持するロッド、58はロッド57の先端に取り付けられ圧縮バネ57の一端を規制するストッパ、59はモータ11をフレーム17に固定する側板である。

【0029】圧縮バネ16は、自走モード時にカバー10を上昇させカバー10の底面と搬送面との間隔を開け、カバー10の移動方向先端やカバー10の底面が原稿に接しにくくして読み取り部1の自走に障害にならないようにするためである。

【0030】なお、読み取り部1と搬送部2とを結合した場合は、後述する搬送部2のローラ20A、20Bが搬送ローラ5A、5Bを押圧することにより、搬送ローラ5A、5B、イメージセンサ6、モータ11、センサ15などはカバー10の内側の所定位置まで退避するようになっている。

【0031】搬送部2は図6、図12、図13、図14のようにカバー22で覆われ、その内部には、搬送部2を読み取り部1に結合した時に搬送ローラ5A、5Bに接して、搬送ローラ5A、5Bに従動して回転し、原稿を移動する一対のローラ20A、20Bと、原稿をイメージセンサ6の受光面に密着させる押さえ部材21と、読み取り部1の結合穴51、52、53、54に係合して搬送部2を読み取り部1に結合させる逆L字状の結合突起61、62、63、64と、給紙部3を取り付けるときに後述する結合部材8A、8B、8C、8D、8Eが挿入される取り付け穴65、66、67とが設けられている。

【0032】なお、読み取り部1と搬送部2との結合は図15のように例えば結合穴51に結合特記62を挿入した後、横へずらすことにより行われる。

【0033】給紙部3は図16、図17のように、搬送部2の取り付け穴65、66、67に挿入されて搬送部2と給紙部3とを結合する結合部材8A、8B、8C、8D、8Eと、プーリ13Aの回転軸55に取り付けられたギア42から回転駆動力を受けるギア7と、このギア7の回転軸に取り付けられたギア43と、このギア43に噛み合うギア44と、このギア44の同軸上に設けられた給紙ローラ30と、この給紙ローラ30にバネ45で圧接された分離パッド31と、原稿をイメージセンサ6に圧接する白色の合成樹脂で形成された押さえ部材21とが設けられ、トレイ4に積載した原稿を給紙ローラ

30と分離パッド31によって1枚ずつ分離してへ送り出し、搬送ローラ5A、5Bとローラ20A、20Bとの間の搬送路に供給するように構成されている。

【0034】以上のように構成される画像読み取り装置はパーソナルコンピュータなどの画像処理装置に接続され、ここからの読み取り指令を受けて原稿画像を読み取り、その読み取り画像のデータを画像処理装置に転送するように構成される。

【0035】＜動作＞以上述べた画像読み取り装置の動作について、(1)自動給紙モード(2)手差しモード(3)自走モードの3つに分けて説明する。

【0036】(1)自動給紙モード

図18のように読み取り部1と搬送部2と給紙部3とが結合された状態で、給紙部3のトレイ4に複数枚の原稿100を積載する。この状態で画像処理装置から読み取り指令を与えると、原稿を分離して給送すべくモータ11が駆動される。すると、このモータ11の回転駆動力はギア7を介して給紙ローラ30に伝達され、この給紙ローラ30の給送方向(反時計回り)の回転によってトレイ4に積載された複数枚の原稿のうち上位数枚が引き出される。

【0037】この数枚の原稿は給紙ローラ30に圧接されている分離パッド31と給紙ローラ30との間に送られ、ここで最上位の1枚のみが分離され、原稿入り口14に送られる。

【0038】原稿入り口14に送られた原稿100はさらに給送され、その先端がセンサ15の位置に達する。すると、原稿100の先端がセンサ15を搬送方向に押圧するので、センサ15がオンする。センサ15がオンすると、図示しない制御部によりセンサ15がオンした時からのモータ11の回転量がカウントされる。モータ11が所定回転量回転し、原稿100の先端が搬送ローラ5Aとローラ20Aによって押さえ部材21で押さえ付けられる位置まで搬送されると読み取り指令が発せられ、原稿100は押さえ部材21によってイメージセンサ6の受光面に密着した状態で図19のように搬送されながら原稿画像がイメージセンサ6によって読み取られる。

【0039】そして、原稿後端がセンサ15を通過し、センサ15がオフになると、その後所定時間あるいは所定量だけモータ11が駆動され、原稿100の後端に至る画像が読み取られたのち、原稿出口19から排出される。

【0040】原稿排出口19から排出される時間になったならば、モータ11は停止され、初期状態に戻るが、トレイ4に後続の原稿100が残っている場合は、先発の原稿100の後端が給紙ローラ30を通過すると、引き続き次の原稿が送り出され上記の動作が行われる。

【0041】(2)手差しモード

図20のように読み取り部1と搬送部2とを結合した状

態で、原稿入り口14に原稿100を挿入する。すると、原稿100の先端がセンサ15を搬送方向に押圧するので、センサ15がオンする。センサ15がオンすると、図示しない制御部からモータ11への駆動信号が発せられ、モータ11が回転し、原稿100が搬送ローラ5Aとローラ20Aによって搬送され、原稿100の先端が読み取り開始位置まで搬送される所定量モータ11が移転すると、原稿100は押さえ部材21によってイメージセンサ6の受光面に密着した状態で原稿画像がイメージセンサ6によって読み取られる。

【0042】そして、原稿後端がセンサ15を通過し、センサ15がオフになると、その後所定時間だけモータ11が駆動され、原稿100の後端に至る画像が読み取られたのち、原稿出口19から排出される。

【0043】原稿排出口19から排出される時間になったならば、モータ11は停止され、初期状態に戻る。

【0044】(3)自走モード

図21のように搬送部2を分離した状態で読み取り部1を書籍などの原稿101の上に載置する。この時、読み取り部1は搬送ローラ5A、5Bによって原稿101の上に支持される。

【0045】読み取り部1が原稿101の上に支持されると、センサ15が原稿によって押されるため、オンする。この状態で図示しない制御部からモータ11へ駆動信号が発せられると、モータ11が所定回転量だけ回転し、読み取り部1が原稿101上を搬送ローラ5A、5Bの回転によって自走する。この自走過程で原稿画像はイメージセンサ6によって読み取られる。

【0046】この時、フレーム17がカバー10に取り付けられた圧縮バネ16によって底面側に付勢されているので、搬送部2を分離した時は、搬送ローラ5A、5B、イメージセンサ6、センサ15などがカバー10の床面から相対的に突出した状態となり、カバー10の底面と原稿101との間隔が自動給紙モードの時より広がり、カバー10が読み取り部1の自走に障害になることがなく、スムーズに自走させることができる。

【0047】そして、読み取り部1が図22に示すように原稿101の後端に達すると、センサ15がオフになる。すると、図示していない制御手段によりモータ11の駆動を直ちに或いは所定回転後に停止し自走を停止すると共に、音や光を発して操作者に危険を知らせる。

【0048】したがって、読み取り部1が原稿101の上から、あるいは原稿101を置いた机の上から落下することはない。

【0049】＜変形例＞この発明は前記実施例に限定されるものではなく、例えば次のような変形が可能である。

【0050】(1)前記実施例においては、読み取り部1、搬送部2、給紙部3を全て備えた構成を説明したが、読み取り部1と搬送部2との組み合わせ、読み取り

部 1 と給紙部 3 とを一体化した構成といった結合形態をとることもできる。

【0051】(2) 給紙部 3 は搬送ローラ 5 A からの回転駆動力を受けて回転するようにしたが、独自に駆動源を持たせる構成であってもよい。

【0052】(3) イメージセンサ 6 は直接に原稿からの像を受光する構成であるが、イメージセンサ 6 の受光光路に縮小または拡大光学系を付加する構成にすることもできる。

【0053】(4) 前記実施例では読み取り部 1 と搬送部 2 と給紙部 3 とを備えた画像読み取り装置を示したが、この発明は原稿上を自走する読み取り部 1 のみを有する画像読み取り装置にも適用できる。

【0054】(5) 制御手段は検出手段が所定以上の高低差を検出すると、駆動部を停止して移動を停止させた後、駆動部を逆回転して移動方向を逆転させ、異常搬送面から退避させるようにしてもよい。

【0055】(6) 検出手段はレバー式センサ 15 に限らず、光を発する発光部と、この発光部からの光が前方で反射して帰って来る光を受光する受光部とを使用し、受光部の受光量が所定以上変化すると、移動方向前方に大きな落差や原稿のしわ、原稿面の湾曲等があると判断するようにしてもよい。

【0056】(7) 前記実施例では自走モード時にカバー 10 全体を画像読み取り面から上昇させるようにしたが、カバー 10 を図 23 のように底面側カバー 10 A と上面側カバー 10 B の 2 体に分割し、上面側カバー 10 B を図 11 のフレーム 17 に固定し、底面側カバー 10 A を前記カバー 10 と同様に取り付けることによ、自走モード時、画像読み取り面に接触し易い底面側カバー 10 A のみを上昇させるようにしてもよい。なお、移動方向前面側は画像読み取り面に更に接触し難いように傾斜面 10 C を形成してもよい。

【0057】(8) 前記実施例あるいは(7)の変形例では読み取り部 1 の画像読み取り面との対向面を搬送ローラ 5 A、5 B、イメージセンサ 6、センサ 15 を除いてカバーで覆ったが、移動方向の先端側及び後端側のみをカバーが覆っただけでもよい。この場合、カバー底面の先端側と後端側との間には所定位置にガイド部材を設けてもよい。

【0058】

【発明の効果】以上の説明から明らかなようにこの発明によれば、原稿を検出するセンサを有し、駆動部によって駆動される回転体の回転により相対的に移動する原稿の画像を読み取る読み取り部と、前記読み取り部に着脱自在で前記回転体に接触して原稿を搬送する搬送部と、前記読み取り部に着脱自在で前記駆動部によって駆動され、複数枚の原稿を 1 枚に分離して前記読み取り部と搬送部との間に供給する給紙部とを適宜設け、切り替え手段により前記読み取り部を原稿上に載置して前記駆動部

によって駆動される回転体の回転によって前記読み取り部を移動させながら原稿の画像を読み取る自走モードと、前記読み取り部と前記搬送部とが結合された状態で原稿を移動させながら読み取る手差しモードと、前記読み取り部と前記搬送部および給紙部とが結合された状態で複数枚の原稿を 1 枚に分離しながら読み取る自動給紙モードとを切り替え、切り替え手段により切り替えられた各モードにおいて前記センサの原稿検出状態に応じて前記駆動部の駆動制御を行うようにしたので、各種の利用形態に対する拡張性を保持しながら小型化とコスト低下を促進し、信頼性の高い画像読み取り装置を得ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】この発明の画像読み取り装置の一実施例を示す平面図である。

【図 2】図 1 の画像読み取り装置の側面図である。

【図 3】図 1 の給紙部のトレイを折り畳んだ状態を示す側面図である。

【図 4】読み取り部と搬送部と給紙部とを結合した状態の断面図である。

【図 5】読み取り部と搬送部とを結合した状態の側面図である。

【図 6】読み取り部と搬送部とを結合した状態の内部構成を示す断面図である。

【図 7】搬送部を分離した状態の読み取り部を示す側面図である。

【図 8】搬送部を分離した状態の読み取り部の断面図である。

【図 9】読み取り部の正面図である。

【図 10】読み取り部の底面図である。

【図 11】読み取り部の搬送ローラ等をカバーから突出させる構成を示す断面図である。

【図 12】搬送部の平面図である。

【図 13】搬送部の正面図である。

【図 14】搬送部の側面図である。

【図 15】搬送部と読み取り部との結合状態を示す断面図である。

【図 16】給紙部の平面図である。

【図 17】給紙部の側面図である。

【図 18】読み取り部と搬送部と給紙部とを結合した状態の動作を説明するための断面図である。

【図 19】読み取り部と搬送部と給紙部とを結合した状態の動作を説明するための断面図である。

【図 20】読み取り部と搬送部とを結合した状態の動作を説明するための断面図である。

【図 21】読み取り部のみで原稿画像を読み取っている状態の断面図である。

【図 22】読み取り部のみで原稿画像を読み取る場合に、原稿端に達した状態を説明するための断面図である。

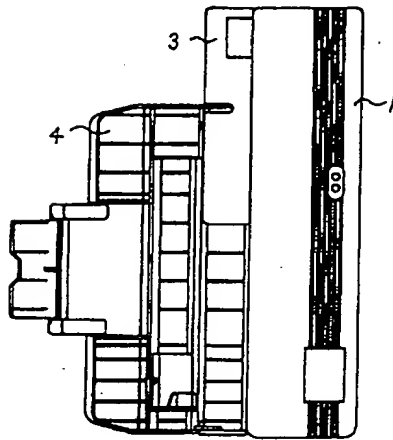
【図23】読み取り部の変形例の構成を示す断面図である。

【符号の説明】

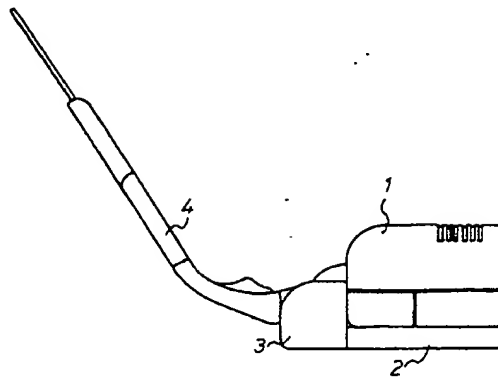
- 1 読み取り部
2 搬送部
3 給紙部
4 トレイ
5A 搬送ローラ
5B 搬送ローラ
6 イメージセンサ

- 10 カバー
11 モータ
15 センサ
16 バネ
17 フレーム
20A ローラ
20B ローラ
21 押さえ部材
30 給紙ローラ
31 分離パッド

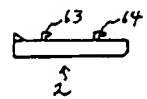
【図1】



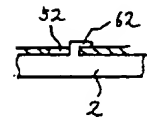
【図2】



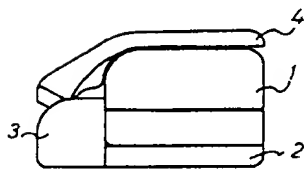
【図14】



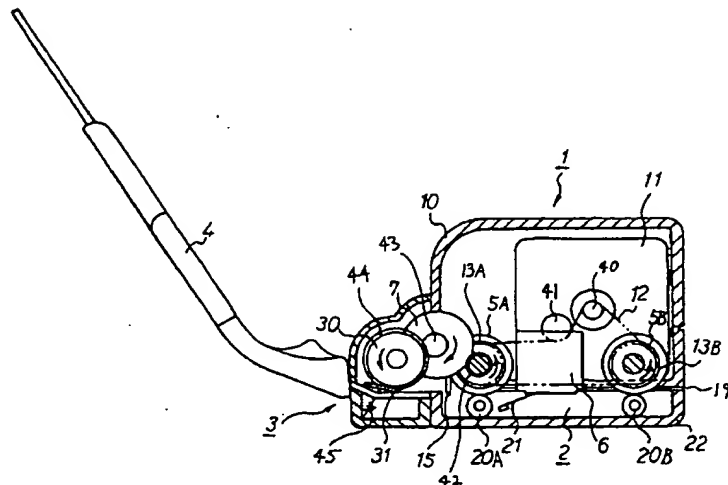
【図15】



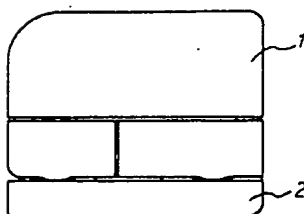
【図3】



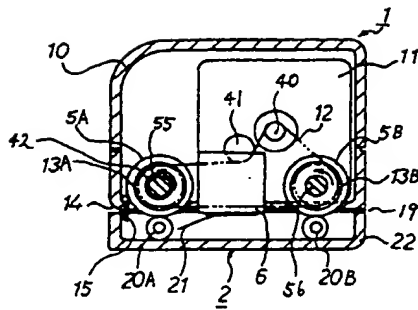
【図4】



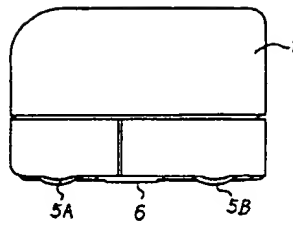
【図5】



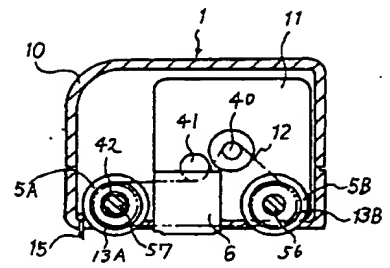
【図6】



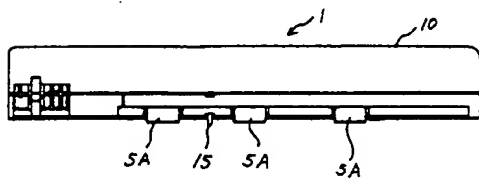
【図7】



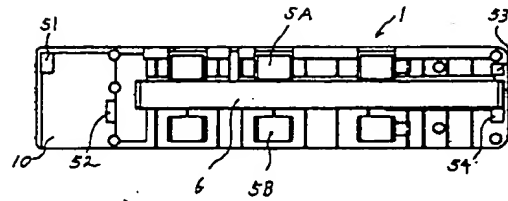
【図8】



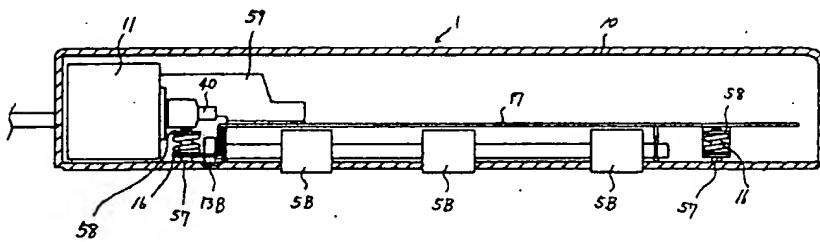
【図9】



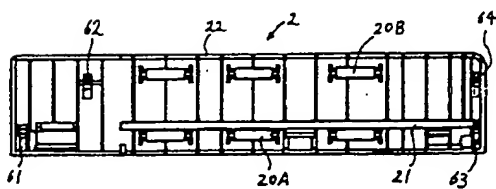
【図10】



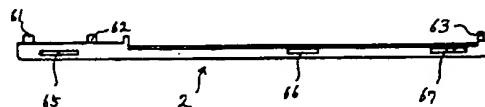
【図11】



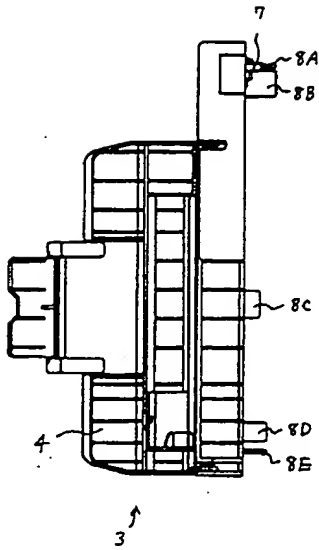
【図12】



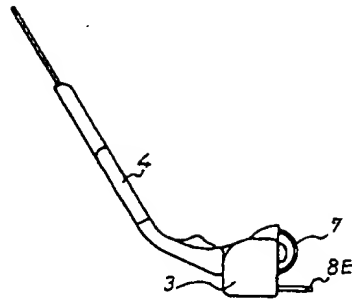
【図13】



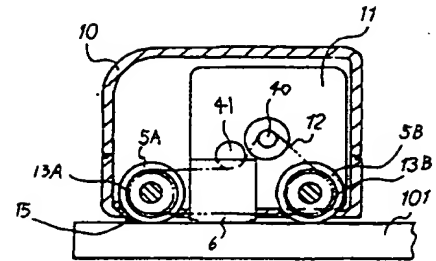
【図16】



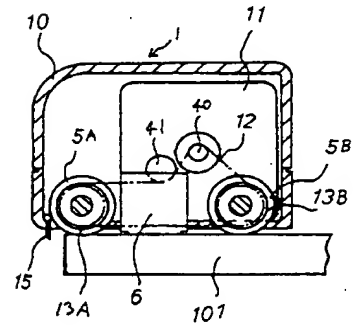
【図17】



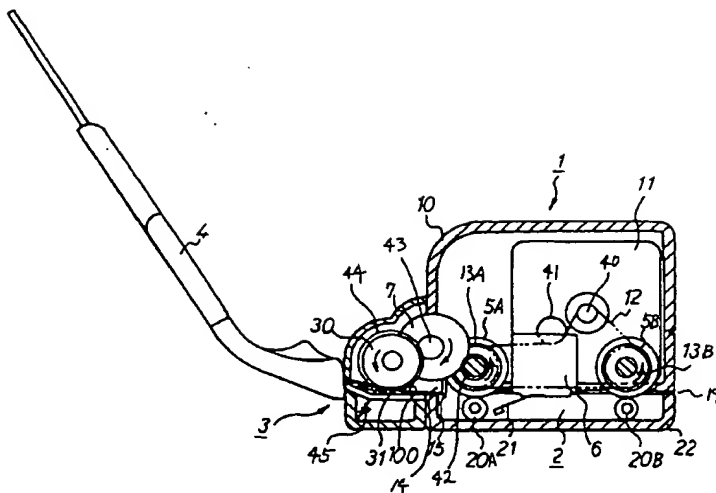
【図21】



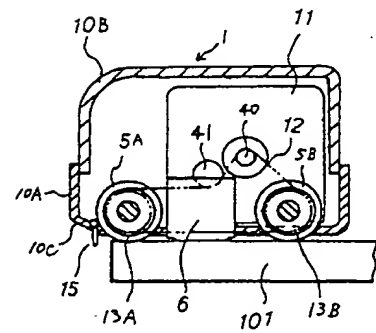
【図22】



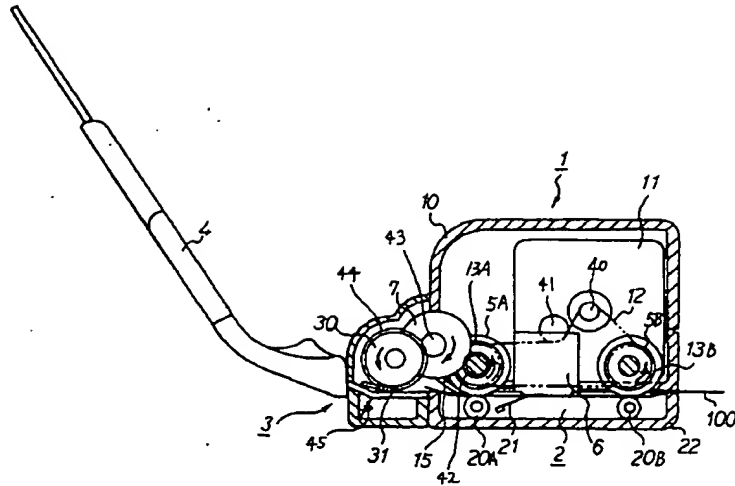
【図18】



【図23】



【図19】



【図20】

